

第 165 回モノづくり教室「ポンポン船作り」報告書

モノづくり工房 Gr

1. 日 時：2026 年 8 月 22 日（土） 午前 9：30～12：00
2. 場所：モノづくり教室
3. 参加者：小 3－9 名、小 4－10 名、小 5－4 名、小 6－1 名 計 24 名（1 名欠席）
4. 支援者：理科クラブ員 12 名
（ジュニアサポ-タ）加藤優一君（中 1 年生） 計 13 名
5. 内容：1. ジュニアサポ-タ認証式：加藤優一君（中学 1 年生）。
2. 10 回参加者表彰：朝倉誠士君（5 年生）。
3. ポンポン船講義：足立
4. ポンポン船作り
5. プールで走らす



ポンポン船



講義



船体切断



船体作り



プールで走らす

6. アンケート結果

小学生	講義	良く分かった（14） 少し分かった（8） 分からなかった（2）
	工作	簡単だった（10） 少し難しかった（12） 難しかった（2）
保護者	何で知りましたか	理科クラブからの案内（7） アットエス（2） まある（2） HP（1） チラシ（1）
	講義内容	難しい（2） ちょうど良い（12） その他（1）
	講座時間（2.5 時間）	ちょうど良い（14）

7. 感想文（主なもの抜粋）

【小学生】1. 実際に走らせることが出来たり、固定燃料をおかわりすることが出来て嬉しかった。意外に速く走ってて良かった（4 年）。

2. 燃料を入れて火をつけたら本当に進んだから凄かった。ホッチキスをやる時に向きを間違えて大変だった。色を塗るのが楽しかった。アルミテープが破れてしまったけど後で直せたから良かった（3 年）。

3. 船がなぜ進むのか？それは体積が 1700 倍にふくらんで管から噴出するから（4 年）。

4. ポンポン船が動く仕組みが分って良かったです。また飛行機や船が動く仕組み、発電の方法などが分った（5 年）

5. 燃料で動く船がびっくりしたよ（3 年）。

【保護者】1. 子供 2 人に対して一人サポ-タの方がつきっきりで丁寧に教えてくれるので安心して工作活動に取り組んでいる様子だった。ただ工作をするのではなく身近な乗り物の原理が今回作るポンポン船の原理と同じなんだという説明を写真や動画を多く使用したスライドで説明していて分かり易いと思った。4 年生になって理科の授業が始まったばかりなので授業と重複している部分は良い復習になっていると感じた。今回初めて参加しましたがとてもアットホームでサポ-タさんと交流も出来ながら活動でき良かったです。他の工作イベントにも色々参加してきましたがこちらが NO.1 です（4 年）。

2. 今回も有難うございました。前から楽しみにしていた題材だったので参加できて嬉しそうでした。絵付けにはかなりこだわりを持ってやっており“自分で作れた”という気持ちから大切に最後まで仕上げたかったのだと思います。家に帰って今日学んだことを家族に話してくれるのを楽しみにしています。毎回作ったものを持ち帰り、家でも発展と遊べるようにして頂けるのが本当に有難いです（3 年）。

3. とてもアットホームな雰囲気でご親身に導いて下さり誠に有難うございました。モノづくりだけや知識だけでなく、知識を言葉だけでなく様々な動画や実物（汽車の動く仕組みの模型や風船など）を見せて下さり身近な活用の例も教えて下さりながら、教えて下さった後その実践でモノづくりを教えてもらいながら活動でき大変感謝しております。親も楽しく学ばせていただきました（3 年）。

4. 勉強にもなり、自身で作る楽しさも学べる良い体験授業だと感じました。今後もこういった教室はあっても良いと思います（4 年）。

5. 3 回目の参加になります。毎回楽しみに待ちかねています。今回は電池を使わないモノづくりで新たな興味を持たれたと思います。色々な体験が出来てとても良いと感じます（3 年）。

【感想・反省】今回初めて満席の教室となり、船作りには真剣に取り組む姿が見られ、また作った後のプールでの走行体験では、実際に火をつけて蒸気で走る船に歓声が上がり、皆楽しんでくれて活気のある教室となった。